



年間で約310万円のコスト削減。 導入効果を目に見えて実感。

トヨタUグループ [販売業]

車や住宅の販売や保険の代理業などからなる
長野地区のトヨタグループ。



担当者へ聞く カラーカードプリンターの導入効果

大きな会社は 削減できるコストも 膨大

経済性

「仕事から社員は名刺を配ることが多いのですが、なかには1ヶ月で200~300枚も配る人がいるんです」と話すのは総務部のチームリーダー清水正理さん。ここ数年、名刺作成にかかる膨大なコストに悩ん

でいたという。「昨年だけで外注した名刺の数は約35万枚。作成コストはついに500万円に達しました」。



1枚10数円といえどもグループ全体ではかなりの額になる。とはいえ発注の枚数を減らすわけにもいかない。そんなときキヤノンの製品デモで出会ったのがカラーカードプリンターだった。「プリント速度も魅力でしたが、それ以上に興味をひかれたのがコストパフォーマンスの高さでした」と清水

さん。従来の約40%までコストが削減できるプリンターにひと目ぼれといった感じだった。「すぐに“これだ!”と思い導入を検討したんです」。今では毎月35,000枚もプリントしているという。「去年の外注枚数35万枚を上回るハイペースですが、それでも約310万円の節約を見込んでいます」。プリンターの導入によるコスト削減に確かな手応えを感じているようだ。

社員から 信頼される対応力

スピード

総務にはしばしば名刺を発注した社員から催促の電話がかかってくる。「今でこそ『何時までに届ける』と答えられますが、昔は納品される日時の見当がつかなかったので私たちも焦っていましたね」と清水さんは



笑う。トヨタUグループの社員にとって名刺は大切な営業ツール。それだけに発注した名刺を指定した時間に届けてもらえるのはとても心強いことだろう。カラーカードプリンターがグループの円滑な営業活動をバックアップしているように感じた。

仕上がり具合にも 大きな差がでた

美しさ

外注の名刺は仕上りの面でもたびたび問題が指摘されていたという。「作成段階ではチェックができないので、納品されてから色の違いに気付くなんてこともありました」と清水さんは過去のトラブルについて語る。ならばプリンター導入後は外注のデメリットは解決されたのだろうか。「今では私たちの目の届くところでプリントできるため、細かな修正にも柔軟に対応できるんです。ロゴの色も正確に再現できるようになり、細部までの表現力もアップしたという。最近では仕上りの美しさを活かして顔写真入りの名刺を作成している。

カラーカードプリンターでこれだけコスト削減できました。

現在、月に3万5,000枚ほど名刺の作成依頼が来ている。年間35万枚(500万円)ほど外注していたところと比べると名刺の需要はかなり増えているようだ。しかし年間42万枚(3万5,000枚×12ヶ月)と想定してコストを比較しても、約310万円のコスト削減が見込めるという。

●年間の名刺作成コスト比較

外注作成の場合	約5,000,000円(約35万枚)
社内プリントの場合	約1,932,000円(約42万枚)

